准看護師科

科目名称	母子看護実習	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期		70
担当教員	香川暁美　川﨑由希　村上 あゆみ 佐伯香織　上野理江	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 概要

産婦人科、小児科、保育園実習を行うことで、母性・小児の特徴と、出産前後の母子および健康障害をもつ小児の看護について学ぶ。保育園実習は全員経験するが、産婦人科、小児科についてはどちらか 1 か所のみの実習を行う。

【2】 学習目標

母性実習

1. 産婦人科外来・病棟の構造と機能、特殊性を理解できる。
2. 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の対象を理解できる。
3. 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の看護を理解できる。
4. 保健・医療・福祉チームの一員としての役割を理解し看護職としての基本的態度を身につけることができる。

小児実習

1. 小児外来の構造と機能、特殊性を理解できる。
2. 小児の成長・発達の特徴および家族の状況を理解できる。
3. 外来での小児看護の実際が理解できる。
4. 保健・医療・福祉チームの一員としての役割を理解し看護職としての基本的態度を身につけることができる。

保育園実習

1. 保育園の構造と機能、特殊性を理解できる。
2. 保育園での園児の様子を観察し、健康な子どもの生活や発達段階の特徴が理解できる。
3. 乳幼児の成長・発達に応じた援助を、指導のもとに実施できる。
4. 保健・医療・福祉チームの一員としての役割を理解し看護職としての基本的態度を身につけることができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

Ⅰ. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

■ 1. 人間を生活者として捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

Ⅱ. 看護を実践する力

■ 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
■ 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
■ 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

Ⅲ. 人間関係を構築する力

■ 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
■ 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

Ⅳ. 主体的に学び続ける力

■ 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
■ 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内　容	授業形態
実習前	母子実習の実習概要についてｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝを受ける。 実習に必要な事前学習を行う。	学内ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ
保育園実習	健康な乳幼児の成長発達段階の特徴とそれに応じた保育について保育士の関わりを見学したり、自ら園児に関ることで学ぶ。	実習
母性実習	産科外来、分娩室、褥室、新生児室をローテーションしながら実習する。 褥婦と新生児の療養上の世話と診療の補助を指導者とともに見学又は体験する。	実習
小児実習	小児科外来において小児の診療の補助、乳幼児健康診査、予防接種の補助を中心に、指導者とともに見学又は体験する。	実習

【5】 評価方法

母子看護実習の到達度基準にそって、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】 教科書

他著 新看護学 14 母子看護　医学書院 2022 年

【7】 参考書

適宜、必要な資料を配付します。

【8】 受講生へのメッセージ

短い実習期間なので、積極的に指導者に関わり経験しましょう。